

2025年度 第23回関東歯内療法学会大会が行われました

KEM第23回学会大会が開催されました

テーマ：「根管治療後の処置の最新情報～ファイバーポストからエンドクラウンまで」

2025年2月2日（日）9:30～16:00

場所：日本歯科大学生命歯学部8階富士見ホール

大会長：北村和夫教授（日本歯科大学）

実行委員長：岸本英之先生（東京都開業）

講演：吉居慎二先生（九州歯科大学）

坪田有史先生（東京都開業）

渥美克幸先生（埼玉県開業） 講演順

受賞講演：牧圭一郎先生（東京科学大学）

一般講演：①梅田貴志先生（東京都開業）
②大森智史先生（東京科学大学）③中山淳先生（東京都開業）④中島龍先生（東京歯科大学）
⑤ 柿沼秀明先生（埼玉県開業）

投票により大森智史先生が鈴木賢策賞に選ばれました。

ビアパーティー

場所：日本歯科大学生命歯学部8階展示ホール

協賛企業：株式会社クラーク、株式会社デンタルダイヤモンド社、株式会社ペントロン、株式会社茂久田商会、株式会社モリタ、クインテッセンス出版株式会社、サンメディカル株式会社、デンツプライシロナ、マニー株式会社



東京都開業 中山 淳先生

2025年2月2日、日本歯科大学生命歯学部富士見ホールにて関東歯内療法学会第23回学会大会が開催されました。今回は根管治療後の最新情報～ファイバーポストからエンドクラウン

までというテーマで、テーマ講演では吉居慎二先生、坪田有史先生、渥美克幸先生にご講演頂きました。根管治療の予後を左右するのは良好な補綴修復であり、そのためには根管象牙質に対する築造体の接着が一番重要であるということを確認致しました。

一般口演では5人の先生の講演、さらに昨年受賞された牧圭一郎先生による講演で締めくくられました。私も一般口演で講演させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。歯髄保護の診療ガイドライン（日本歯内療法学会、日本歯科保存学会編）においても、歯髄保護と接着修復が重要であるとされており、私もこの二つを主眼において日常臨床を行っております。

本大会のテーマは歯内療法を完結させ、その長期予後を獲得する上において大変重要な課題であったと考えております。今後も先生方の日常臨床において興味深いテーマを探ってきたいと思っております。

Q今回のサマーセミナーに参加されていたかでしたか？（満足83.1%、普通13.9%）

- ・ 新たなことを知れた
- ・ テーマの選択が良かった
- ・ エンドクラウンについて学べたこと
- ・ 面白い内容でした
- ・ 質疑応答の時間が十分確保でき、疑問が解決できたから

Q今回の講演内容は、今後の診療に役立ちますか？（満足80.6%、普通19.4%）

- ・ 実践できる事が多い
- ・ 自分がなんとなく選択していた材料の裏付けとなる知識を補完してもらえた
- ・ 接着の知識整理ができた
- ・ 臨床的な内容が多く、勉強になりました
- ・ エンドクラウンを自身で実施する機会はまだまだ少なさそう。ファイバーポストのしだい築造に関しては非常に勉強になりました
- ・ 自分の知らない事柄をたくさん学べた

Q今回良く理解できた事は何でしたか？

- ・ エンドクラウン
- ・ 接着の重要性

- ・ 直接的支台築造
- ・ シングルコーンテクニック

Q今回あまり理解できなかった事は何でしたか？

- ・ エンドクラウンか、どうかを事前に見極める方法
- ・ 歯肉縁下の接着について

Q今後、どのような講演をご希望ですか？

- ・ 感染根管治療に絞ったテーマ
- ・ 根管洗浄
- ・ 歯根端切除術と逆根管充填
- ・ 歯髄保存の最前線
- ・ 根充

2025年度サマーセミナー、ベーシックセミナーのご案内

サマーセミナー

日時：2024年8月28日（木）17:00~

場所：日本大学歯学部本館7階
創設百周年記念講堂

テーマ：歯根端切除術ー基本から難しい大臼歯症例までー

大会長：武市 収教授（日本大学）

講師：高林 正行先生（東京都開業）

牛窪 敏博先生（大阪府開業）

定員：200名

ベーシックセミナー

テーマ：「歯根尖切除術ー基本手技を学ぶー」

日時：2024年8月28日（木）14:00~16:00

場所：Ciメディカル 東京ショールーム内研修室

講師：高林 正行先生（東京都開業）

定員：25名

協賛企業：トロフィー・ラジオロジー・ジャパン株式会社

詳細は、関東歯内療法学会HPにて